

あんしん & スムーズな治療計画は、 より正確な歯髄診断から。

MI^{*}をすすめるドクターが導入する“パルプテスター”。

歯髄の生死の正確な診断は、歯牙の将来に関わること。
“パルプテスター”による精度の高い歯髄診断は、
いま注目のMIでも大変重要視されています。

※Minimal Intervention=最小限の侵襲

診断時の患者さんの痛みを大幅に軽減しました。

“パルプテスター”は低出力電圧でも十分なデータを得られる
パルストレイン方式。患者さんに強い痛みや不快感のより
少ない歯髄診断が可能です。

パルプテスターは的中率99.4%の高精度。

パルプテスターによる歯髄生活試験成績。

©パルプテスターによる歯髄生活試験成績。【北村隆行：新しい電気歯髄診断器について歯界展望 第54巻第6号より転載】

	被検歯数	適中歯数	適中率(%)
生活歯	645	641	99.4
失活歯	74	74	100.0
	719	715	99.4



電気歯髄診断器 「パルプテスター」

仕様

- オートマチックON/OFFスイッチ
 - プローブ表示ライト
 - オートマチック出力コントロール
 - オートマチック・リセット
 - バッテリー・チェッカー
 - 本体寸法: W105×D190×H60mm
 - プローブ: φ9.5×L158mm
- 電源: 1.5V 単3アルカリ電池4個

電気式歯髄診断器

◎承認番号: 15500BZY01293000

標準価格: 149,500円

あんしん&スムーズな治療計画は 正確な歯髄診断から。



日常臨床における 電気歯髄診断の有効性について

小嶋 壽先生

東京都中央区開業

あれは今から25年ほど前、根管充塞のオピアンキャリア法を考案された、今は亡き大津晴弘先生と2人で矯正1週間の研修旅行へ行き、合間に歯内療法の専門医で当時ADAの副会長だったワーレン.T.ワカイ先生のところへ表敬訪問したときだった。「今度新発売されたこの電気歯髄診断器は、患者様にとって不快なドンとくる痛みもなくジェントリーで、歯科医師にとっても大変使い易く、生死の判断が容易ですよ」といわれて、電気歯髄診断器を見せていただいた。歯磨材を介在してハンディなテスターのチップの先を歯面に付けるとONになり、0から80までのデジタル表示でスピードコントロールが付いている。早速手配してもらい日本に持ち帰り、翌日から使うようになった。本当に患者様の受けも良く、術者にとってもハンディで信頼性の高い機器となっている。



歯髄診断能力を高めたいので、 電気歯髄診断器を使用しています。

荒川 義浩先生

大阪府摂津市開業

数年前、当院にて研修している大学専攻生が、私に質問いたしました。「先生の医院には、歯髄診断器はないのですか？」私は彼女の素朴な疑問に、はっといたしました。現在でも、歯髄歯周疾患において、レントゲンでの診断と患者さんの訴えとの食い違いに悩むことは多くあり、そのとき歯髄診断の重要性は十分認識しながらも、従来の歯髄診断器は信頼性が低いという理由で、使用しなくなっていたのです。つまり悩んだとき、あとは待機的診断と経験で治療に介入する時期をさぐることをしていました。しかしこの考えは、低侵襲治療（やりすぎないで結果を出す技術）をベースとして臨床を行う場合、治療介入の時期が遅れ、病態を重症化させる危険性もはらんでいます。やはりここで精度の高い歯髄診断が必要です。電気歯髄診断器は従来の患歯に接触させてから、手でダイヤルを回して電気抵抗値を高めていき歯髄の反応を診るのではなく、患歯に接触させるだけですべてがオートマチックにゆっくりと電気抵抗値が上がっていき反応を診るというものです。患者さんにあの急激な痛みを感じさせることなく、ゆっくりと歯髄刺激をあたえ反応をみるので、かなり正確な診断ができると感じております。低侵襲医療は正確な診断を実践するうえに成り立つと考えています。21世紀前半は、患者さんの予防意識の向上によりう蝕の軽症化がどんどん進むでしょう。そのとき患者さんが、我々術者に望むことは、歯の一回目の死である抜髄をしないで処置してほしいということです。そのために歯髄診断力を高めるために電気歯髄診断器を使っています。

禁無断転載

取り扱い商店名

株式会社ヨシダはISO9001とISO13485を取得しています。
詳しくはヨシダホームページをご覧ください。
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

製造販売元  株式会社 **ヨシダ**

〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9 TEL:03-3845-2931 (器材営業本部直通)



(01)02747937011102

2013年8月/KIN/10/10/再